



平成 21 年 9 月 15 日

各 位

会社名 名古屋鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 山本 亜土
 コード番号 9048
 上場取引所 東証・名証各第一部
 問合せ先 取締役財務部長 後藤 卓郎
 T E L 052-588-0846

業績予想及び配当予想の修正並びに中間配当の見送りに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日に公表した業績予想及び配当予想の修正並びに中間配当の見送りについて下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

- (1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	306,000	10,000	6,500	3,500	3.98
今回修正予想 (B)	288,000	4,600	1,900	△600	△0.68
増減額 (B - A)	△18,000	△5,400	△4,600	△4,100	—
増減率 (%)	△5.9	△54.0	△70.8	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績	324,140	12,670	9,810	3,945	4.48

- (2) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正
 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,100	6,300	4,800	1,700	1.93
今回修正予想 (B)	49,000	3,700	2,700	△900	△1.02
増減額 (B - A)	△2,100	△2,600	△2,100	△2,600	—
増減率 (%)	△4.1	△41.3	△43.8	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績	51,532	7,785	7,372	3,848	4.37

(3) 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	650,000	24,000	17,000	12,000	13.64
今回修正予想 (B)	630,000	18,800	12,500	6,500	7.39
増減額 (B - A)	△20,000	△5,200	△4,500	△5,500	—
増減率 (%)	△3.1	△21.7	△26.5	△45.8	—
(ご参考)前期実績	665,034	24,223	19,055	11,574	13.16

(4) 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	101,500	10,500	6,000	7,500	8.53
今回修正予想 (B)	97,300	6,400	2,600	1,500	1.71
増減額 (B - A)	△4,200	△4,100	△3,400	△6,000	—
増減率 (%)	△4.1	△39.0	△56.7	△80.0	—
(ご参考)前期実績	100,712	11,908	9,060	9,829	11.17

(5) 修正の理由

昨年秋以降の企業業績や雇用環境の悪化、個人消費の低迷等に加えて、新型インフルエンザ及び高速道路料金の週末割引制度などにより、当社グループの事業全般にわたり影響を受けております。

特に、当社鉄軌道事業では、輸送人員が想定以上に減少していることに加え、空港線利用者が依然減少傾向で推移していることなどにより、前回予想から大幅な減収となる見込みであります。連結子会社においても、運輸事業では、貨物輸送量の減少も歯止めがかからずトラック部門や海運部門で大幅な減収となるほか、バス事業も新型インフルエンザの影響等から減収となる見込みであります。また、流通事業では、百貨店事業において中元商戦等の業績が振るわず減収の見込みであります。このほか、レジャー・サービス事業においても、ホテル部門では法人需要の減少に歯止めがかからず、旅行業では5月の新型インフルエンザなどに伴う業績悪化を夏休み及び9月の大型連休期間の取扱高で補填することが難しい見通しとなりました。

当社グループでは更なる経費削減に努めておりますが、現時点では企業業績及び個人消費の急速な回復は期待できない状況にあり、通期につきましても当社をはじめグループ全体でも大幅な収支改善は期待できない見通しであります。

以上のような理由により、連結・個別とも平成22年3月期の第2四半期累計期間及び通期について、前回予想からそれぞれ下方修正いたします。

2. 平成 22 年 3 月期配当予想の修正

(1) 修正の内容

基 準 日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想	円 銭 2.00	円 銭 2.00	円 銭 4.00
今 回 修 正 予 想	0.00	未定	未定
前期実績 (平成 21 年 3 月期)	2.00	2.00	4.00

(2) 修正の理由

業績予想を踏まえ、当第 2 四半期については利益の低下が見込まれるため、平成 21 年 5 月 13 日に公表した第 2 四半期末の配当予想を修正し、誠に遺憾ながら、中間配当を見送らせていただきます。

また、期末配当については、今後の業績の見通しが極めて不透明であることから現時点では未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、できるだけ早い機会に改めてお知らせさせていただきます。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上